

「IFT12 Food Expo」に出展

6月26～28日の3日間、米国・ラスベガス市で「2012 IFT FOOD EXPO」が開催され、世界の大手食品・食品添加物会社をはじめとする約1,000社が出展、約28,000人が来場する世界最大規模の食品・食品添加物関連の展示会となりました。

IFT (Institute of Food Technologists) とは、米国・シカゴ市に本部を持つ世界最大の食品関連の学会で、毎年この時期に研究発表会が開催されています。同時開催される展示会 (IFT FOOD EXPO) は、世界の食品産業の動き、新製品開発の方向性を知る手段として近年食品関連の産学官の各方面から注目を集めている食品展示会で、今年で73回目を迎えました。

ヤクルト薬品工業では、ガラクトオリゴ糖 (製品名：オリゴメイト) が、米国でGRAS物質※1 (Generally Recognized as Safe Substances：米国において一般に安全と認められる食品) としてのFDA (米国食品医薬品局) 認証を取得し、またコーシャ認証※2 (ユダヤ教徒が食して良い食品) を取得見込みであることから、北米地域での知名度向上と販促活動強化を目的に「2012 IFT FOOD EXPO」に出展しました。

「オリゴメイト」の展示ブースでは、サンプルを配布し、食品開発に携わる多数の方に製品の特性などを紹介しました。米国では、ヤクルト本社が1999年から販売している「ヤクルト」をとおして、プロバイオティクスの保健効果を訴求しており、今後、整腸関連商品の市場規模の拡大が予想されます。「オリゴメイト」などのプレバイオティクスは、プロバイオティクスの増殖因子として注目されています。

ヤクルト薬品工業では、今回の展示会をきっかけに「オリゴメイト」のプレバイオティクス機能のPRならびに様々な食品に利用しやすい食品素材として販売活動を強化していきます。



※1 GRASとは、米国の食品安全性に関する独自の審査制度です。GRAS物質は厳格な審査により安全性が保証されている食品、または食品化学物質として、米国のみならず国際的に広く認められてい

ます。食品またはその原料を販売する場合には、GRAS物質であることが望ましいとされており、1997年より自己確認 (Self Determined GRAS Declaration) に基づく米国FDAへの届出制 (Notification) が導入されています。

※2 コーシャ認証とは、ユダヤ教徒が食してよい食品のことで、食品原料製造工程でユダヤ教徒が食していけない食品（例えば、ほ乳類：ブタ、ウサギ、ラクダ、イノシシ、甲殻類：エビ、カニ、魚介類：貝類、タコ、イカ、ウナギ由来原料など）が含まれないことを審査機関が査察を行い、適合していれば認証を与えるものです。ヤクルト薬品工業では、コーシャの認証機関で最も大きな組織である Orthodox Union から認証を得る見込みです。北米で販売されている食品の多くはコーシャ認証を得ています。